

思考力・判断力・表現力を養うパフォーマンステストの実践とAI活用方法の研究

授業力向上推進委員会
岐阜県立郡上北高等学校 田代果歩

1

目次

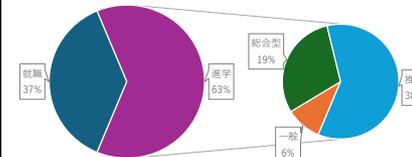
1. 研究目的
2. 実践と結果
3. まとめ

2

研究目的

3

本校の進路状況



- ・毎年、共通テスト受験者は数名
- ・総合型選抜や推薦入試が中心
- ・入試で英語を必要としない生徒も多い
- ・英語の必要性を比較的感じていないため、思考力・判断力・表現力を伸ばすことにも消極的である可能性

4

求められる授業展開

- ・知識・技能を活用して、思考力・判断力・表現力を高めようとする姿勢を育むには、どのような授業を展開すべきか？
→ 「楽しい」授業、思考の重要性を体感できる授業
- ・生徒にとって「楽しい」とは？
→ 「わかった」「できた」を感じられる
対教師・対生徒コミュニケーションを通して「伝わった」と感じられる

5

学校授業における生成AIのあり方

依存

- 自らの意見を述べる活動で翻訳をそのまま使用する
- 生徒の意図が正しく伝わらないことがある
- 考えることを諦めてしまう

共存

- 生徒に生成AIの基本的な仕組みや特徴を理解させる
- 生成AIに全てを委ねるのではなく自己の判断や考えが重要であることを十分に認識させる

6

目指す授業

- ・対教師・対生徒コミュニケーションを通して、「わかった」「できた」を感じられる授業づくり
- ・生成AIを適切に活用できる授業づくり

思考力・判断力・表現力を養う
パフォーマンステストの実践とAI活用方法の研究

7

実践と結果

8

実践内容と対象クラス

【実践内容】

- I. セクション毎の言語活動の実施
- II. パフォーマンステストにおける生成AIの活用
- III. メタ認知の機会

【対象クラス】

- 3年次 進学コース (18名)
- 2年次 進学コース (23名)
- 2年次 地域・産業・福祉・介護コース (37名)
- 2年次 観光ビジネスコース (22名)

9

I セクション毎の言語活動の実施

教科書から読み取れる事実ではなく、自分の意見を述べる活動を設定した。

繰り返し行うことで自分の意見を述べることのハードルが下がった

They intimidate others. Players show ~~our~~ their motivation.

文法ミスが見られた
→知識・技能が未定着

I think dancers ~~sharing~~ share that feeling with people.

習った表現を参考にし、自分の言葉で伝えようとする姿が見られた

内容や意図を読み取れていない生徒が明らかになった
→適切な支援をする余裕がなかった

実際の授業プリント

10

II パフォーマンステストにおける生成AIの活用

- 自分の意見を伝えるために必要な英語表現を生成AIに質問させた。
- AIに依存しすぎないように、必要な情報を取捨選択し、文意や構成を考えて書くよう指示した。

Lesson 1 パフォーマンステスト(書くこと)

必要な英語表現を生成AIに質問することは認めるが、翻訳をそのまま使用することや生成AIに依存することは認めない。必要な情報を取捨選択し、文意や構成を考えて書くこと、その際、使用するプロンプトは自由だが、以下のように翻訳ではなく、ヒントのみを提示するように指示するものとする。

例:「私は高校生です。英語で言いたいことがあります。翻訳や英文の例は不要です。英語表現のヒントだけを丁寧に教えてください。つなげ方のヒントも省いてください。」

パフォーマンステスト要項

11

その他の支援

- パフォーマンステストにおいて以下の支援も行った。
- 該当Lessonで使用した語彙・表現を参考表現として提示した。
- 構成のモデルを提示した。

実際の配布した資料

12

II パフォーマンステストにおける生成AIの活用

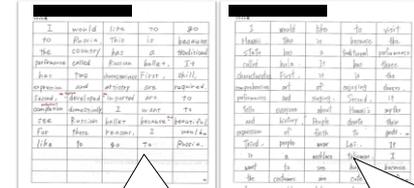
- 以前は日本語と英語を1対1で結び付け、訳そうとしていたが、一つの日本語に対して、生成AIに複数の英訳を提示させ、最も適切なものを考え、選択することができた。



13

II パフォーマンステストにおける生成AIの活用

- 生徒A：文型に大きな誤りは見られなかった。語彙についても、適切に選択していた。
- 生徒B（英語を苦手としている生徒）：主語がない等の誤りについてはおおむね適切に選択していた。



Second, developed imported art to completion domestically.
(一部抜粋)

Second, it tells everyone about Hawaii's myths and history. People devote their expression of faith to gods. (一部抜粋)

実際のパフォーマンステスト成果物

14

III メタ認知の機会

進学コースは「表現力強化プロジェクト」システム、その他のコースはCopilotを使用し、完成した英作文を添削した。

表現力強化プロジェクト

- 文法、内容の両面において有効な添削ができた。
- 改善するための提案も含んでいる。



Copilot

- 同じプロンプト、同じ英作文に対して、毎回異なる添削、評価を出力した。
- 添削に誤りが多く見られ、生徒にとって有効な添削ではなかった。

- 「表現力強化プロジェクト」の方が効果的である。
- 全クラスで「表現力強化プロジェクト」システムを活用したいが、課題に制限があるため、活用が難しい。
- Copilotで不備あったが、無料版を使用していることが原因の可能性はある。

15

III メタ認知の機会

- 添削内容について、生徒に検討させ、リライトさせた。
- 最初の英作文とリライトしたものを比較させ、生成AIによる文章の変化を可視化させた。訂正箇所について訂正理由を日本語で簡単に記述させた。
- 今まで、大多数の生徒が書きっぱなしになっていたが、リライトの機会を設けたことで、より良いものを書こうとする姿が見られた。
- どのように訂正するのか、なぜ訂正が必要なのか分からない生徒もいた。→教員に聞く生徒もいれば生成AIに聞く生徒もいた。



実際に生徒が記入した訂正箇所と訂正理由

16

アンケート結果

- 生成AIにヒントのみを聞くように指示をしました。生成AIを活用する中で、ヒントだけでなく翻訳が出力されることがありましたか？

- よくあった
- あった
- ほとんどなかった
- なかった

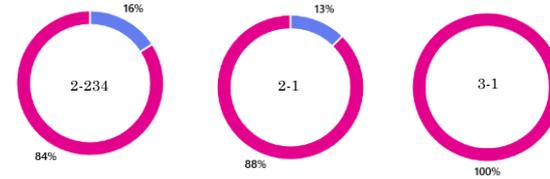


17

アンケート結果

- 翻訳をそのまま使用しましたか？

- そのまま使用した
- そのまま使用していない



18

アンケート結果

- 生成AIが出力した情報から、必要な情報を取捨選択し、文意や構成を考えて書くことができましたか？

- できた
- できなかった

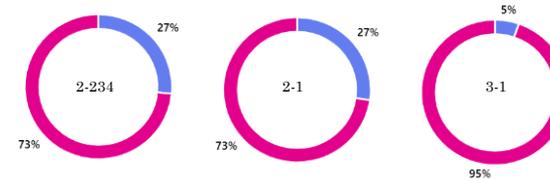


19

アンケート結果

- 従来のように生成AIの使用などに制限がない形式のパフォーマンステストと今回の形式、どちらがよいと感じましたか？

- 従来形式
- 今回の形式



20

アンケート結果

「今回の形式がよい」と回答した生徒（76人）

- ・AIに依存してしまうことなく今までの表現とは違う似た表現について新しく知ることが出来たし、どの表現が自分の一番伝えたいことと同じかを考えることが出来たから
- ・自分で調べて理解することがたのしいから
- ・分からない単語を調べて書いた英文をAIに直してもらってここが違ってこう直すといいとか英語の文を見直せし今回のやり方の方が文法などが記憶に残りやすかったから。
- ・自分の力で文を完成することができ、達成感を得れた。
- ・AIに頼ると考えなくてもすぐかけちゃうから。今回はしっかりと考えたり友達と相談して作ったからできた時の達成感が感じられた。力もついたと感じた。

21

アンケート結果

「従来の形式がよい」と回答した生徒（24人）

- ・英語できないからAI使わせてほしい
- ・文法を日本語で説明されても英語がわからないのでやりにくかった。

22

まとめ

23

まとめ

成果

- ・言語活動では、既習事項を使用させることで自分の意見を積極的に表現しようと試みる姿が多く見られた。（実践Ⅰ）
- ・生徒が自分の力で考えることや表現することによって、「できた」と感じる機会を増やすことができ、その結果「楽しい」にもつながったと考える。（全体）
- ・生徒のCopilotの使用や「表現力強化プロジェクト」システムの利用は有効であった。（実践Ⅱ・Ⅲ）
- ・生成AIの活用は新たな表現の習得や、自分の伝えたいことを最も適切に伝える表現を考える方法の一つであると同時に、生成AIの正しい活用には英語の正しい理解が必要であると体感させることができた。（全体）

24

まとめ

課題

- ・「楽しい」授業には近づいたが、「知識・技能を活用して、思考力・判断力・表現力を高めようとする姿勢を育む」には及ばなかった。
- ・生成AIなしでは自分の意見を述べるのが難しいと感じている生徒への支援。
- ・普段の授業における知識・技能の定着。
- ・普段の授業における思考する習慣の定着。

自身の発問力を磨き、生徒が思考し表現する学びを充実させることで、主体的に英語力を高める姿勢を定着させていきたい

25

参考文献

文部科学省（2024）『初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドライン』

使用教科書

VISTA English Communication II（三省堂）

26